



J0プロジェクト (障害者施設への選手訪問)

「J0プロジェクト」は「ジェフ応援プロジェクト」の略称で、「(障害者施設が)ジェフを応援」「ジェフが(障害者施設を)応援」の2つの意味があり、障害者施設が製作するオリジナルグッズでジェフの応援を盛り上げるほか、千葉市内の障害者施設の販路を拡大し、障害者の自立支援の促進を図ることを目的としています。2016年よりスタートしているこの取り組みを社会貢献型のホームタウン活動に昇華させるため「選手の訪問」という新たな接点を作って障害者のモチベーション向上を目指しました。

活動場所 : カフェハーモニー (千葉市中央区弁天3-1)

取組テーマ : ダイバーシティ (共生社会)

協働者 : NPO/行政

協働者名 : 千葉市 (障害者自立支援課) / 千葉県障害者就労事業振興センター

活動で工夫した点

選手の訪問活動だけでなく、クラブイベント (ユナパまつり) での実販売や、障害者施設の方を試合に招待する (富士電機シート) など、立体的な取り組みになるよう検討しました。

活動で大変だった (苦労した) ポイント

販売は継続してきたものの、担当者に入れ替わりにより目的や意義が薄れマンネリ化していましたが、シャレン! の視点を共有することで活動に新たなモチベーションを加えることができました。

クラブや地域の活動後の変化

選手が訪問したことで施設利用者から次回作の要望など声をかけられる機会が増えたとのこと。クラブ、行政、NPOがこれまでやってきた活動の価値を再確認することができました。



協働者の声

千葉県障害者振興センターの声: J0プロジェクトという千葉市・福祉事業所・ジェフユナイテッド共同プロジェクトが始まって4年がたちました。その取り組みは定着した反面、スタートした当初の思いをどうやって維持していくか思案をしていた矢先のこの取り組みは、予想を超えた参加者の反響を得ることができました。ぜひ今後も続けさせていただきたいスペシャルプロジェクトです。

参加者の声

カフェ・ハーモニー様のコメント「うまくできるかなあ」「緊張するう」「教えるなんて無理」と言って迎えた当日。二人の選手のフレンドリーな対応に少しホッとしました。一生懸命取り組む選手に、夢中になって教えるうちに、緊張がほぐれていきました。終わってみると、「楽しかった」「ほめてくれて嬉しかった」「練習通りにできた」という充実した思いがわいてきました。とても貴重な経験でした。ありがとうございました。

活動の「ここぞ!」というPRポイント

「ジェフのショップに置いてもらう」のモチベーションから、「ジェフと一緒に作り、ジェフのイベントで販売する」という主体的な活動への進化。

補足

-